

教えて!

富山 けいざい



空飛ぶクルマって?

◆渋滞緩和・救助活動に

Q-何のことかしら。

A-まだ明確な定義はありませんが、一般的には「電動」かつ「操縦者なし」で「垂直に離着陸できる」身近で手軽な空の移動手段を指す場合が多いようです。人や物資を輸送できるような大きなドローンを想像すると分かりやすいでしょう。



Q-どんなことができるの。

A-例えば、交通手段として活用すると、都市部では渋滞を避けて通勤・通学ができます。山間部や離島などの交通の不便な地域では山や海を越えて簡単に人の移動ができます。富山県でも活躍できる機会が多いかもしれません。大規模な災害・事故が発生した際の救助活動での活用も期待されています。観光産業やスポーツ観戦などの娯楽にも利用できそうです。

Q-日本での開発は。

A-世界の企業が競うように開発や実証実験を行っています。日本では航空機やドローン、自動車などのエンジニアらによる有志団体CARTIVATORが設立したSky Drive社が、昨年12月に国内初となる有人飛行実験を始めました。今年2月にはトヨタ自動車空飛ぶクルマの開発を行う米国の新興企業Joby Aviation社との提携を発表。NECや川崎重工業、ANAホールディングスなど日本を代表する企業も取り組んでいるようです。

Q-いつ実現できるの。

A-経済産業省、厚生労働省は2018年に「空の移動革命に向けた官民協議会」を設立し、官民が取り組む技術開発や制度整備などについて「空の移動革命に向けたロードマップ」を策定しました。これによると、19年から試験飛行、実証実験を始め、23年には空飛ぶクルマを活用した事業を開始し30年の本格普及を目指します。順調にいけば、10年ほどで暮らしの中に空飛ぶクルマがあることが当たり前になりそうです。

(北陸経済研究所の藤貴伸が解説しました。随時掲載します)